

【長屋地区ほか】

質問：草を燃やすなどという話になると、大池の土手の草は、今後どう処理したらよいか？量が量なので処理に困る。

A：草刈については少々お待ちください。ただき確認させてほしい。何か変化があったらお話しするので、今まで通り対応してほしい。

(生活安全課：町内会・行政区による除草は当面自粛をお願いします。ただし地域の実情により草刈りを行うことはやむをえませんが、刈った草の移動・集積は行わないようお願いいたします)

【和田地区】

質問：市では学校は扇風機でやるか、とっているが、学校生活をおくる子どもたちをどのように考えているのか。

市長：1教室4つ扇風機をつける。学校の線量測定を見てもらうと、屋外と教室内の値が変らなくなった。風の強い日でなければ窓を開けても大丈夫と思っっている。今、省エネ・エコと節電に関心が集まる中、放射線量を下げる取組みをし、窓を開けら

れる状態になって、なおかつエアコンが必要か、そこまで神経質にならなくてはいけないのかと考える決断したのでご理解をいただきたい。



【サンライズもとみや】

質問：子どもたちの内部被ばくをできるだけ少なくするように頑張っているかと思っっている。給食での野菜と牛乳は大丈夫かなど心配。どのくらい放射性物質が入っているか正確なデータを教えていただきたい。

市長：先日給食センターで確認したところ、全て県外の物。たけのこは愛媛産。牛乳は放射性物

質を検出していないので地元のもの。原乳についての調査は頻繁に行っているので安心いただきたい。

(本宮方部学校給食センター：学校給食センターについては、農産物の地産地消を推進しています。しかし、本宮市を含む福島県産の多くの野菜等は原子力災害対策特別措置法に基づき出荷及び摂取を制限するよう指示されていますので、野菜等の産地は福島県以外としています。)

【糠沢地区】

質問：子どもたちのことで、登下校でマスクをしている子を見かけなくなった。中学校は汚染度が高いが自転車通勤している。その辺はどうか。

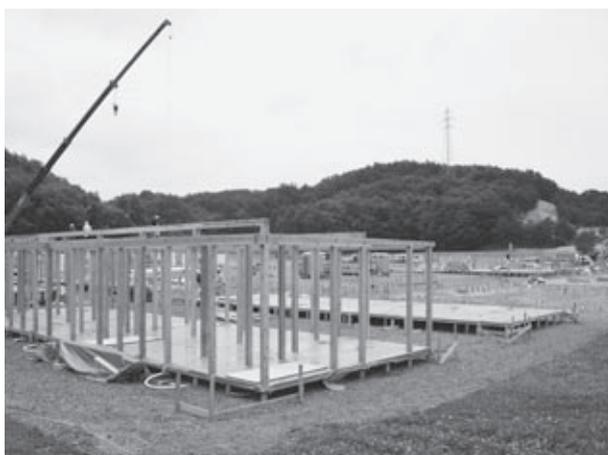
市長：空気中にある放射性物質は落ちて少なくなってくる。保護者の方が心配されれば着けるべきだが、いろいろな話を聞くとマスクもしなくていいし、半袖も大丈夫と学者はいう。家に閉じこもったりすることや神経質になることが逆に病気の原因になると言われている。できるだけ安全を確保しながら保護者の方の考え方にゆだねていくしか

ない。

■浪江町応急仮設住宅について

質問：避難された方の子どもたちの学校はどうなるのか。

市長：どのような人が来るかまだ把握できていない。浪江町でも把握できていない。和田・糠沢には若干の空きがある。一つの学校を用意するか既存の学校を利用するかは、入居された方の状況をみてからになる。



質問：避難期間は短期ではなく、長期となるか。

市長：2年と言うことだが、本宮にいられる間は市民と同レベル

はいけないこともあると思うのでよろしく願いたい。

■その他の意見・要望

【松沢】

ルのサービスをさせていたただく。2年という話で収まれば浪江の方もどれだけ幸せか。どんな方がおいでになるかもまだわからない。浪江の役所は混乱して3割位の方をまだ把握していないという話をきく。市としてもできるだけのお手伝いをさせていたただきながら受け入れたい。

意見…お互い福島県民なので、本宮に来て良かったと言われるように市民も支援していきたい。テレビでやっていたが、病院に行くのが大変。そういう人にも集まってもらい、車をだす。いっぱい入ってもらえる方法をとってもらいたい。

市長…定期的に不法投棄の巡回はしているが、足りないところは役所にご一報いただければ処理をさせていたただきたいし、広報につきましても十分考えていきます。

【長屋地区】

要望…防犯灯が少ない。子供たちの通学路のため、街路灯の増設をお願いしたい。

市長…従来、防犯協議会の要望により設置していた。特に白沢地区は通学路に防犯灯がないと聞く。生活安全課に年間計画を立てるよう指示していた。優先順位等を考慮し、地区的に重点的な予算を配分し、効果のある方法を考えさせていたただくと

いう方向で進めたい。



【北町コミセン】

意見…本宮に図書館ができることを心待ちにしていた。インターネット時代だが、本で読みたい。放射能の本も読みたい。検討していただきたい。

市長…図書館の要望は市民から非常に多く寄せられている。原則として、市には一つの図書館となっている。今は、しらすわ夢図書館がある。造るとすれば分館という形で考える。ある程度

時間が必要だが、市民の皆さんの要望にこたえなくてはいけないものと理解している。

【稲沢地区】

要望…合併して4年目になるが、一番の心配が格差だ。格差のない市政をしてほしい。

市長…まずは、地元をよく理解しなくてはいけない。それぞれの地区毎にバランスをとり特色のある開発をしていけばよいと思う。このような懇談会で何が必要か、どうするべきか考えていくのでご指導をお願いしたい。

紙面の都合上、全てのご意見・ご要望は掲載できませんので、抜粋した形で報告とさせていただきます。

◆問い合わせ先

秘書広報課 広報広聴係

(内線223・224)